

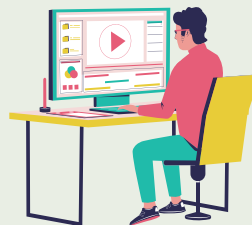
2025年度 第21回さかの映像祭プレイベント



手話で語り、目でつくる——



ろう者
難聴者
向け



映像制作 ワークショップ

Deaf & Hard of Hearing Film Workshop



15名
先着順

応募締切

9.7日



2025

9/20(土) 21(日)

10:00-17:00

10:00-18:00

会場 愛知大学 豊橋キャンパス
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1

対象 ろう者・難聴者で、映像制作に興味のある方
[高校生以上]

お申込み方法・参加費などの詳細は裏面をご覧ください。



映像作家
今村 彩子



映画監督
大館 信広



映像作家
上田 謙太郎

主催：第21回さかの映像祭実行委員会 共催：愛知大学文学部 上田謙太郎研究室

ろう者・難聴者向け 映像制作ワークショップ

手話で語り、目でつくる——

ろう者・難聴者のための2日間の映像制作ワークショップです。手話や視覚的な表現を活かして、企画・撮影・編集、そして出演までを体験します。チームで協力しながら、自分の“ことば”を映像として形にしていきます。映像づくりが初めての方も歓迎です。完成した作品は、21日（日）の上映会で披露されるほか、2026年2月開催予定の「第21回さかの映像祭」での上映も予定しています。

プログラムの内容(予定)

※プログラムは予告なく変更する場合があります。
※ワークはチーム制で行います。

第1日目

自己紹介など

9.20 土

レクチャー

●講師：上田謙太郎
「カメラ・三脚の使い方」

ワーク

●1分以内のインタビューを撮影
●ワークの作品を上映、コメント

レクチャー

●講師：今村彩子
「映画における出会い」

ワーク

●映像撮影スタート
テーマ「出会う」

●20日（土）の夜に交流会を予定しています。
（希望者のみ）

第2日目

レクチャー

●ラッシュ試写

9.21 日

ワーク

●映像撮影の続き
●映像編集（字幕なし）

●上映会＋舞台挨拶
●感想、フィードバック



完成披露上映会 無料 駐車場あり

2日間で制作した映像作品を、最終日に上映します。
地域の皆さまにもご参加いただく予定です。どうぞお気軽にお越しください。

9.21 日

受付 16:30 上映 17:00-18:00

場所 愛知大学豊橋キャンパス
2号館1階メディア芸術スタジオ

募集要項

参加費 1万円（税込）※機材使用料、昼食込み

定員 15名 ※定員に達し次第、受付を
締め切ります（先着順）。
2日間とも参加可能な方を
優先させていただきます。

応募締切
9.7 日

こちらからお申込みください



使用機材例



SONY FX30



Canon EOS R

講師紹介



今村 彩子氏（映像作家）

名古屋出身／カリフォルニア州立大学ノースリッジ校で映画制作を学ぶ。主な作品に『Start Line』、『友達やめた。』、『きこえなかったあの日』がある。現在、息子を育てながら映像制作をしている。



大舘 信広氏（映画監督）

神奈川県横浜市在住。ろう映画制作「デフムービーエンターテインメント プロディア」代表。認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」ディレクター＆カメラマン。



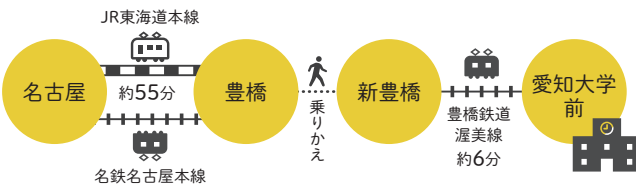
上田 謙太郎氏（映像作家）

愛知大学文学部准教授／聴者。大学で『手話ドラマとよはし』など、手話・ろう関係の映像を制作・研究している。監督作『木組みの家 大工阿保昭則の家づくり』（字幕付き）がYouTubeで公開中。

アクセス

駐車場あり

愛知大学 豊橋キャンパス 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1



●鉄道をご利用の場合
「豊橋」駅より豊橋鉄道渥美線（「新豊橋」駅乗り換え）「愛知大学前」駅隣接
※参加者は大学の駐車場をご利用できます。
※当日の詳細な会場については参加者に連絡いたします。